

◆『国語科教育』第83集 投稿募集について

第83集編集委員会

1. 投稿論文は、2017年8月1日（火）から8月31日（木）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
全国大学国語教育学会事務局
電話：03-5389-3012
3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 以下の『国語科教育』投稿要領に従ってください。
(投稿要領が、一部修正されています。特に、項目7(1)下線部のキーワード記載の点に関し、ご留意ください。)

『国語科教育』投稿要領（平成28年5月27日修正）

投稿論文の内容および体裁について

1. 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリント類の場合はこの限りではない。なお、他誌に掲載された自らを著者とする論文と著しく重複する内容の論文を、投稿してはならない。
2. 重複投稿の禁止
本誌『国語科教育』に投稿された論文等はその採否が決定するまで国内・国外を問わず他誌に投稿することはできない。また、他誌に投稿中のものは受けけない。
3. 募集枠は、「研究論文」「実践論文」「資料」の三つのカテゴリーとする。どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記する。ただし、採択の枠付けに関しては、編集委員会の最終的な判断によるものとする。
研究論文：独創的な知見を含む学術研究。
実践論文：国語科の先行実践をふまえて、新たな実践の方向性や意義・価値について学術的な根拠に基づいて論じたもの。
資 料：国語科教育学に関する基礎的データや国語教育の実践・研究に関する情報を提示したもの。
4. 連続掲載は、原則として2回までとする。
5. 論文原稿は、縦書きまたは横書きで、原則としてパソコンを使用する。
6. 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚（8ページ分）以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。

(1) 横書きの場合

23 字×44 行×2 段（1 ページ 2,024 字，ただし最初の 1 ページは，題目・氏名のスペースとして 7 行 2 段をとる。）

(2) 縦書きの場合

33 字×31 行×2 段（1 ページ 2,046 字，ただし最初の 1 ページは，題目・氏名のスペースとして 7 行 2 段をとる。）

- * 学会ホームページに記載している，投稿原稿用のテンプレートを使用すること。
- * 引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし，図表についてはこの限りではない。
- * 図表は本文の中に入れて計算し，本文内に該当箇所を明示することとし，縮小率は 8 割以上とする。

7. 原稿は以下の体裁で整えること。

(1) 論文本体

- * 表題の下に、投稿論文に関わるキーワードを記すこと。（←新規挿入）
- * 論文には氏名・所属等，書き手を特定できる情報は書かないこと。

(2) 注（ただし，引用のための注はつけない）

(3) 参考文献

- * 論文本体や注，参考文献に「拙稿」「拙著」など，投稿者名が判明するような記述を行わないこと。

8. 引用文献の記載について

(1) 引用文献の記載方法は，原則として APA スタイルに準拠する。

(2) 本文中における引用の記載方法は，次の通りである。

①著者が一人の場合は，著者の姓および発行年を本文中に挿入する。

・・・（高橋，2010）。・・・（Black, 1988）。

高橋（2010）は，・・・。Black（1988）は，・・・。

②著者が二人の場合は，両方の著者の姓および発行年を本文中に挿入する。

・・・（高橋・鈴木，2012）。・・・（Black & White, 1992）。

高橋・鈴木（2012）は，・・・。Black & White（1988）は，・・・。

③同一刊行年の文献は，刊行順に a, b, c, を刊行年に付し区別する。

佐藤学（1999a）『教育時評 1997-1999』世織書房

佐藤学（1999b）『学びの快樂 ダイアログへ』世織書房

(3) 論文末に，日本語文献と非日本語文献とに分けて参考文献を記載する。日本語文献は著者の姓の五十音順に，非日本語文献は著者の姓のアルファベット順に参考文献を掲載する。翻訳文献は，非日本語文献として記載する。記載方法の例は，次の通りである。

①学術誌の論文

石井庄司（1953）「国語教育学の完成を期して」『国語科教育』第 2 号，1-4.

Posner, G. J., Strike, K. A., Hewson, P. W., & Gertzog, W. A. (1982). Accommodation

of a scientific conception: Towards a theory of conceptual change. *Science Education*, 66 (2) , 211-227.

Wertsch, J. V., (1991). *Voices of the Mind: A sociocultural Approach to Mediated Action*, Harvester Wheatsheaf. 田島信元他訳 (1995) 『心の声—媒介された行為への社会文化的アプローチ』 福村出版

②書籍

全国大学国語教育学会編著 (2013) 『国語科教育学研究の成果と展望 II』 学芸図書
大槻和夫 (1997) 「国語科教師における国語教育学の目的と体系」 全国大学国語教育学会編『国語教育学の建設 1 国語科教師教育の課題』 明治図書, 1-104.

Fraser, B. J., Tobin, K. G., & McRobbie, C. J. (Eds.). (2012). *Second international handbook of science education*. Dordrecht, Netherlands: Springer.

または

Fraser, B. J., Tobin, K. G., & McRobbie, C. J. (Eds.). (2012). *Second International Handbook of Science Education*. Dordrecht, Netherlands: Springer.

③オンラインからの引用

文部科学省 (2011) 「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1301088.htm (○年○月○日
確認)

Degelman, D., & Harris, M. L. (2000). *APA style essentials*. Retrieved May 18, 2005, from Vanguard University, Department of Psychology Web site:
http://www.vanguard.edu/faculty/ddegelman/index.cfm?doc_id=796

(4) 本文中の文献ページ数の記載は、以下のいずれかの方法に従う。

- ① 発行年の後に「:」(コロン)を入れて「著者名(発行年:ページ)」とする
例: 石井庄司(1957:2)は「○○○」と述べている。
- ② 引用の最後にページ数を明示する。
例: 石井庄司(1957)は「○○○」(p.2)と述べている。
- ③ 注の形式(脚注、または、巻末注)で、参照する文献のページ数を明示する。
例: 石井庄司(1957)は「○○○」¹と述べている。

注 1. 石井庄司(1957) p.2

原稿を投稿するにあたって

9. 投稿に際しては以下のものを同封する。

- (1) 電子媒体(OS名と作成ソフト名を記載すること)

(2) 打ち出し原稿4部(複写でよい)

(3) 投稿者情報(A4一枚に、氏名、所属、原稿発送年月日、連絡先(電話番号、Eメールアドレス、住所)、論文の表題、希望する募集枠のカテゴリーを記載したもの)なお、提出物は原則として返却しない。

10. 郵送に際しては書留で送付すること。また封書には氏名、所属、連絡先を記載し、表には「投稿原稿在中」と朱書すること。

11. 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

12. 著作権について

本誌『国語科教育』に掲載された著作物(電子媒体への変換による利用も含む)の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本学会に譲渡されたものとする。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではないが、再利用する場合は事前に本学会宛に連絡をする。